

# 在宅医療・在宅介護の連携推進に関する市民アンケート調査結果

(平成26年 敦賀市)

## ◆調査の目的

在宅医療と在宅介護の連携推進に向けて、市民の方を対象に、在宅医療と在宅介護に対する知識や意見の調査を行い、現状と課題を把握する。

- ・在宅医療、在宅介護を受ける際の意向や障害について
- ・在宅医療、在宅介護を支える際の意向や障害について
- ・在宅医療と在宅介護を推進するための意見

## ◆調査の概要

### (1) 実施期間

平成26年6月24日～7月11日

### (2) 回収率

配布数	回収数	回収率
1,000	513	51.3%

## ◆調査結果の概要

・市民が、日常生活において不安を感じていることとして、自分や配偶者が介護の必要な状態になること(19.3%)、老後高齢化への漠然とした不安(18.9%)等が上位にあがった。

・在宅医療や在宅介護について知っているかの問いでは、「全く知らない、言葉を聞いたことがある程度」と回答した方が、約半数を占めた。

・在宅医療に取り組んでいる病院があることを知っているかの問いで、「知らない、聞いたことはあるが分からない」と答えた方は73.4%、在宅介護に取り組んでいる事業所があることを知っているかの問いで「知らない、聞いたことはあるが分からない」と答えた方は39.1%であり、在宅医療についての認知度の方が低いことが分かった。

・在宅医療が必要となった場合の相談先としては、病院(29.0%)、市役所(23.1%)、医院(12.1%)、地域包括支援センター(11.1%)が上位にあがった。在宅介護が必要となった場合の相談先としては、市役所(28.0%)、病院(18.8%)、社会福祉協議会(13.5%)、地域包括支援センター(12.9%)が上位にあがった。

### 【在宅医療、在宅介護を受ける立場となった時の意向や障害について】

・自宅で在宅医療や在宅介護を受けることになった時気になることとして、家族への負担(21.6%)、金銭面の負担(20.4%)が上位にあがった。

・介護を受ける立場になった時、自宅で介護を受けたい方(40.5%)が圧倒的に多かったが、「希望するし実現可能」(14.2%)にとどまり、「希望するが実現は難しいと思う」(50.1%)、「希望しない」(16.4%)で、意向と現実とにギャップがあった。

- ・特養等の介護保険施設（17.6%）、病院等の医療機関（15.1%）を希望する方もいた。
- ・そのギャップとなっている要因は、「家族に負担をかける」（36.1%）、「経済的に負担が大きい」（16.6%）、「急に病状が変わった時の対応が不安」（13.8%）が上位にあがった。

#### 【在宅医療、在宅介護の介護者の立場になった時の意向や障害について】

- ・「できるだけ在宅医療介護に取り組みたいし、実現可能だと思う」（26.9%）、「できるだけ在宅医療や介護に取り組みたいが、実現困難だと思う」（48.5%）、「あまり在宅医療・介護に取り組みたくない」（9.8%）と、介護者の立場になった時も、意向と現実とにギャップがあった。
- ・介護する立場になった時、在宅医療や介護に取り組みたくなかったり、実現困難と思う要因として、「症状の急変時の対応に不安」（とてもそう思う 46.8%）「症状急変時にすぐに入院できるか」（とてもそう思う 46.8%）が多かった。
- また「費用面の負担」（とてもそう思う 34.1%）、「医療や介護の知識がなく不安」（とてもそう思う 31.5%）が次いで多かった。さらに「入院した方が、よい介護やよい治療を受けられると思う」（どちらかといえばそう思う 46~47%）と感じている方も多かった。

#### 【在宅医療と在宅介護を推進するための意見として多かったもの】

- ・「症状が悪化した時にいつでも入院できる医療体制の整備」（15.6%）
- ・「24時間いつでも見てもらえる体制」（15.2%）
- ・「家族の負担を軽減するためのデイサービスやショートステイ等の拡充」（14.5%）
- ・「一般市民向けの在宅医療についての情報提供」（10.9%）
- ・「一般市民向けの在宅介護についての情報提供」（10.7%）
- ・「行政の積極的な関わり」（10.2%）

#### ◆調査結果からの課題

- ①市民の在宅医療や在宅介護に関する知識や情報不足  
⇒一般市民に向けた在宅医療、在宅介護に関するわかりやすい情報提供
- ②急変時や緊急時の対応に対する介護者の不安  
⇒24時間安心できる体制の整備
- ③在宅医療、在宅介護にかかる経済面の負担  
⇒費用負担に対する支援の検討
- ④介護者の介護負担  
⇒介護負担を軽減するためのサービスの拡充と介護者のフォロー
- ⑤家族に迷惑をかけたくないという思い（家族への遠慮）  
⇒若い年代への普及啓発と家族間での話し合い